



トンボに学ぶ工作教室



当日の動画は
こちら

3月27日、従業員のスキルを活かした（プロボノ）モノづくりプログラム
「トンボの翅をはねたプロペラのミニ発電機作り」で「バイオミメティクス」
について学ぶ「トンボに学ぶ工作教室」を開催しました。

森あるき

春の池は生き物たちでいっぱい！！池の中には、
何種類のヤゴがいるのか？実際にヤゴを採り、
どんなトンボになるのか？観察をしました。

森あるき

短い距離ですが池まで歩いたら、
ヤゴ（トンボ）の生態について学びました。

ヤゴはどんな場所を好むのか？
どこをさがせば捕まえられるのか？
考えながら探します。

この池のヤゴは、全部で4種類、
何種類のヤゴを捕まえる事ができるか？
皆で競争しました。

「ヤゴを捕まえられて楽しかった！」
「どんなトンボになるのか楽しみ」
「ヤゴ採りって楽しい」
などの感想をいただきました。



実際に生き物を見て触れる事ができるのは、とても
貴重です。そして自分が体験して得られた知識は発
展性があります。自然の中で自然に学ぶ、トヨタの
森ではこうしたプログラムを随時開催しています。

モノづくり



生きものたちのすごワザから学ぶバイオメティクス、子どもたちが少しでも理科に興味をもてるように工夫しています。



バイオメティクス



生き物たちのすごワザを学んだら、次は、オナモミとマジックテープを虫眼鏡で観察。実際に商品化されているものを見て、感動です。その後、トンボの翅の構造も観察しバイオメティクスについて学びました。

工 作



電圧測定



トンボの翅を読み込んで3Dプリンターで作成した翅をプロペラにしてミニ発電機を作成！比較用に平翅も作成します。

作成した発電機を扇風機の風にあてて、電圧を測定！どんな違いができるかな？

森と技術のコラボで新しいプログラムができました。今後も新しい森の活用策として、従業員の特技や知識を活かしたプロボノを開発していきます。